

# AMD A医師ら被災地活動報告 災害医療理解を

## 岡山で公開講座

県立大大学院（総社  
市窪木）と国際医療ボ



熊本地震での医療活動報告などがあった  
「災害セミナー」

ランティア・AMD Aによる公開講座「災害  
（岡山市北区伊福町）セミナー」が28日、岡

山市内であり、熊本地震の被災地で活動した医師らの報告を通じ、市民らが災害医療への理解を深めた。

4月に発生した熊本地震の際、AMD Aの緊急医療支援チームの第1陣として現地入りした佐藤拓史医師（51）  
岡山出身、福岡県在住は「本震後、避難所は停電し、真っ暗な中で24時間態勢の診療に当たった。支援が必要なのに我慢している人が多く、看護師ら

が巡回して探し出した」と説明。被災地の緊急医療活動について「医師、看護師、薬剤師、栄養士らがチームで取り組むことが大切」と述べた。

東日本大震災と熊本地震の両方に調整員として派遣されたAMD A職員、AMD Aの活動を支える中高生会メンバーによる活動報告もあった。市民や災害医療を学ぶ学生ら約90人が聴いた。

（伊丹友香）